

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2006-221091(P2006-221091A)

【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-033

【出願番号】特願2005-36604(P2005-36604)

【国際特許分類】

G 03 G 15/02 (2006.01)

G 03 G 5/08 (2006.01)

G 03 G 5/147 (2006.01)

G 03 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/02 103

G 03 G 15/02 101

G 03 G 5/08 301

G 03 G 5/147 502

G 03 G 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

<電子写真感光体A>

感光体2において、保護層塗工液および膜厚・作成条件を下記のように代えた以外は感光体2と同様にして、電子写真感光体Aを作成した。

メチルトリメトキシシラン：182部、ジヒドロキシメルトリフェニルアミン：40部、2-プロパノール：225部、2%酢酸：106部、アルミニウムトリスアセチルアセトナート：1部を混合し、保護層用の塗布液を調製した。この塗布液を前記電荷輸送層の上に塗布・乾燥し、110、1時間の加熱硬化を行い、膜厚3μmの保護層を形成した。

<電子写真感光体B>

感光体2において、保護層塗工液および膜厚・作成条件を下記のように代えた以外は感光体2と同様にして、電子写真感光体Bを作成した。

正孔輸送性化合物：30部、アクリルモノマー（化1に示す）及び光重合開始剤（1-ヒドロキシ-シクロヘキシル-フェニル-ケトン）：0.6部を、モノクロロベンゼン：50部/ジクロロメタン：50部の混合溶媒中に溶解し、表面保護層用塗料を調製した。この塗料をスプレーコーティング法により先の電荷輸送層上に塗布し、メタルハライドランプを用いて500[mW/cm<sup>2</sup>]の光強度で30秒間硬化させることによって、膜厚5μmの表面保護層を形成した。

【化1】

